



旭三小だより

令和5年度 学校通信
第9号 11月30日(木)

旭川市立旭川第三小学校

未来の自分からのリクエスト

校長 三木 勝仁

未来の自分は、今の自分に対して、どんなことをリクエストするでしょう？

〇年後、～なことができるように、～な人になりたいから、今から〇〇を頑張ってくださいか？

それとも、今の自分が「やりたい」「やれること」を、自分なりに頑張ってみよう！。どこに行き着くのか、楽しみだ。 でしょうか？

未来の姿から現在まで時間を戻るようにして考えること、「今」から未来に向かって順番に考えること、考える時間の向きが異なる2つの思考方法があります。いずれの思考方法にも適・不適の場面があり、どちらも使えるようになることが大切です。

今号では、細貝充弘教諭が「これからを生きる子供たちのために」として、「子供たちが大人になった頃の社会」から考え始めた教育DXについて寄稿してくれました。「今」と「未来」、その両方を見ながら指導を進めています。

すばらしい…

お礼 横断歩道を渡るとき、

「ありがとうございます」と言いながら停まった車の運転手さんに頭を下げる子に会いました。運転手さんに声は聞こえないけど、心は伝わっていると思いました。素敵な姿でした。

家族に 「これは、高く売れるかなあ？」と、職員玄関内に飾っているトロフィーを見ながらつぶやく子に会いました。そのお金を何に使うのか尋ねると、「家族に何か、買ってあげたい」。素敵な思いだとは思ったのですが、「他の方法で手に入れたお金の方が、家族は喜ぶんじゃないかなあ」と伝えてみました。「そうだね！」と笑う表情も素敵でした。

「今日、帰ったらね、除雪するんだ！ 私のスコップで！」雪がたくさん降った次の日の朝、明るい笑顔で教えてくれた子がいました。「おうちの人、喜ぶね」と言うと、「うんっ！」の返事。とびっきりの笑顔でした。私の気持ちも明るく、温かにしてくれました。

リレー連載

〇〇な力を、～にして

これからを生きる子供たちのために ～ 教育DXの観点から

研修部部長 細貝 充弘

教育DX (Digital Transformation) とは、教育分野においてデジタル技術とその活用方法を用いて、教育の品質や効率を向上させる取り組みを指します。具体的には、コンピュータやインターネット、モバイルデバイス、人工知能 (AI) などを活用して、教育の内容や方法、学習者のサポートを改善することを目指します。教育DXの目的には、以下のようなものがあります。

1, 学習者の主体性と能動性の促進～デジタルツールやオンラインコンテンツを活用することで、個別に合わせた学習や自己学習が可能となります。2, 学習の柔軟性とアクセス性の向上～オンライン学習プラットフォームや遠隔教育技術を利用することで、場所や時間に制約されずに学習ができるようになります。3, 教育の効果測定とカスタマイズ～データ分析やAIを用いて、学習者の進捗や理解度を評価し、それに基づいたカスタマイズ教育を提供することが可能です。4, 教育の専門性の活用～教師はデジタルツールの活用やデータ分析による指導計画の作成など、教育DXにおいて重要な役割を果たします。以上、教育DXは、学校や教育機関、教師、児童生徒、保護者、教育関連企業などが協力して実現されるものです。テクノロジーの進歩と普及によって教育DXはますます重要性を増しています。

・・・なんだそうです。なんとももっともそうに書いていますが、以上、話題の「チャットGPT」に作らせた「教育DX」の説明でした。(なんということでしょう!!) 要するに、これまでアナログだったものをデジタルに変換・移行するだけでなく、ICTによる活用・変革の必要性を説いています。

先の読めない激動の社会と言われていています。もはや家庭や学校は子供たちに知識・技能のみを与えていれば済む場所ではありません。GIGAスクール構想による一人一台のタブレットが導入されて早3年。学校での授業の形も日々進化を遂げています。受け身ではなく、親や教師に「させられる」のではなく、今後立ちどころあらゆる問題・課題に自ら主体的に取り組み、自ら解決法を選び、自ら乗り越えていく・・・。そんな子供に、そんな人間に成長していくことができるように、家庭、地域、学校が手を取り合っていきましょう。教育DXという考え方、変革とともに。

分かりやすく つたえる子

よく考える子

3年生から6年生までが集まり、これまでの河川学習の成果を発表・交流する「忠別川エンジョイマップ交流会」を行いました。

子どもたちは、手書きによる新聞やタブレットによる発表など様々な方法で学習の成果をまとめました。また、他学年の児童に自分たちの活動を分かりやすくつたえるために発表方法を工夫しながら堂々と発表しました。「違う活動をしていて分かったことや知ったことが違うのに、最後は川や自然を守っていききたいという答えにたどり着いていていいなと思いました。」という感想をもつなど、川の街あさひかわへの愛着を深め、自分たちの生活と川のつながりや持続可能な環境や水、社会について考えを深めるよい機会となりました。



2階廊下に飾られた「忠別川エンジョイマップ」

大変お世話になりました

平成21年の設立以来ずっと三小っ子のことを見守っていただいた、三小ボランティア代表の浦島さんが転居のためにこの地を離れることとなりました。

これまでの感謝の気持ちを浦島さんへ伝える会をTV放送で行いました。会では三木校長と代表児童からの感謝の言葉と花束を贈らせていただきました。

浦島さんからは「横断歩道では車が停止したのを確認してから渡ること。この時期、ドライバーは雪道に慣れていないので、交通安全に気を付けてください。」と最後まで子供たちのことを気に掛けてくださっていました。本当に長い間ありがとうございました。



自他の良さと違いを認め合う子

仲よくする子

「校内絵画展」を開催中です。1階の教室前や職員室前の廊下に子どもたちの素敵な作品を展示しています。

子どもたちの「発想」や「工夫」を大切にそれぞれの作品の良さを認め、児童同士が互いの良さを伝え合う場としています。

子どもからは上級生の作品を見て、こんなに上手に描けるなんてすごい!といった声があがっていました。1年生から6年生までの作品が一同にならんでいると、子どもたちの豊かな発想や個性が感じられると共に、だんだんと成長している様子も感じとることができます。



絵画展は、12月15日(金)まで開催しておりますので、参観日にお越しの際にぜひご覧ください。

日	曜	12月の行事予定
1	金	交通安全の日
4	月	旭川永嶺高校インターンシップ
5	火	児童会 薬物乱用防止教室(6年)
7	木	朝会
11	月	返本週間(～16日)
12	火	参観日(4・6年)
13	水	参観日(2・3年) スクールカウンセラー(井上先生)来校
14	木	参観日(1・5年)
15	金	フレンドリー集会 諸費引き落とし日
18	月	冬休み図書貸出(高学年)
19	火	冬休み図書貸出(中学年) エスポラダ北海道出前授業(2年)
20	水	冬休み図書貸出(低学年)
25	月	2学期終業式、大掃除 特別4時間給食なし

冬休み期間 12月26日(火)～1月14日(日)
3学期始業式 1月15日(月) 特別4時間給食なし

予定は変わることがあります。学級通信でご確認ください。